

夜回り

# 山田先生



西陵商ラグビー部元監督

▶16◀



▼山田耕二(やまだ・こうじ) 名古屋市中区生まれの73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢初優勝に導く。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県豊田市長を務める。

## ベッドは、トイレは、食事は…不安を説得で解消

オーストラリア遠征では現地でホームステイさせてもらい、多くの方々にお世話になった。逆に、オーストラリアやニュージーランドの生徒たちのホームステイ先となつて、西陵商で受け入れることにもなった。

「うちには団地。あちらのような広い家で生活している人にはかわいそう」、「ベッドだって2段ベッドです。身長の高い彼らがはみ出して転げ

落ちてしまったら大変」、「食べ物も、ステーキなんてとても用意できません」。そんな声が次々と上がった。

海外の知らない人を家庭に招き入れ、数日間一緒に暮らす。不安になって当然だ。私は粘り強く説得を続けた。「狭い家や和式トイレは日

本の文化で、彼らはそういうことを体験しに来るんです。ベッド代わりに床に毛布を2枚並べれば、そこに布団を敷いて寝られます。安く手に入る鶏肉で、からあげを作つてあげれば、彼らにはごちそうなんです。」

不安が次第に解けていった

保護者らは、次々に受け入れ先として名乗り出てくれた。海外に不安を抱くのは、未知の世界だから。一度知ってしまえば、恐怖はしほんでいき、むしろ新しい発見にたくさん感動があるだろう。

海外遠征やホームステイ受け入れなど、異文化交流を一度でも体験すれば、異国へのハードルは一気に下がる。将来、社会人になって海外出張を任されても、一度異文化を体験しているから堂々とこなせる。再会した卒業生たちからはよく感謝される。

# 保護者も協力ホームステイ受け入れ